

2009年度

科目名	倫理学B				
担当教員	池田 清				
配当	文 1・教育1・人間1		コード	22670	
開期	後期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	人権思想 環境倫理 生命倫理				
目的と概要	「地球温暖化って何やる」(環境倫理)、「安楽死って何やる」(生命倫理)、「DVDコピーして、ええんやるか」(情報倫理)、これらは、身の回りで感じる疑問です。授業は、こうした疑問に関して、法律や、暗黙の了解の背後にあるルールを洗い出します。その際、基本になるのは、人権(=幸福追求権)という考え方です。「自分の幸福って何やる」という発想をベースにして、環境倫理、生命倫理、情報倫理について自分なりの考え方をもちつことが、授業の内容であり、目標です。				
成績評価法	出席、レポート、本試験から総合的に評価します。				
テキスト	テキストは使用しません。適宜資料を配布しますが、講義ノート中心です。				
参考書	授業中、その都度指示します。				
履修に当たっての注意・助言	倫理学の授業を有意義で面白いものにするために、気楽に、しかも積極的に授業に参加して下さい。				
講義計画					
<p>◎倫理学は、決して堅苦しい道徳ではありません。身の回りで起きていることに対して、普段は「それ、当たり前やん」と思っていますが、「そやけど、〈当たり前〉って、何で思うたんやろ？」と自問したとき、既に倫理学の入り口に立っているのです。「何で、優先座席で、おばあちゃんに席譲らなあかんねん」、「何で、人殺したらアカンねん」など、自分が知らない内にいつの間にか心にインプットされたルール・マナー・作法などに関して、「何で？」と疑問をもち、「みんなも〈当たり前〉と思うてるんやろか」、「〈当たり前〉って思うのは、みんなにとっても〈良いこと〉何やるか」など自問するなら、倫理学に既に足を踏み入れています。</p> <p>1環境倫理の誕生  2preservationとconservation  3「自然の権利」思想と動物解放論  4ディーブ・エコロジーと全体主義  5レイチェル・カーソンと農薬問題  6環境問題の現実  7産廃不法投棄事件と責任問題  8リサイクルに関する諸法の意味と限界  9循環型社会の可能性  10環境問題の思考様式功利主義とその限界  11二つの自由主義  12世代間倫理  13民主主義と住民投票  14試験対策  15まとめ</p>					